

添付資料

(1) トピック展示 水谷家文書寄贈記念 新収蔵展

福井県内在住の方から、朝倉氏に関する古文書を2点寄贈いただき収蔵しました。これを記念して新収蔵資料を初公開するトピック展示を開催します。

○会期 2月7日(火)から

○会場 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 基本展示室

○新収蔵資料

朝倉孝景書状 1点

敦賀気比社の社家東河端氏に出された初代孝景の書状です。文明6年(1474)のそまやま 杣山合戦に関して出されたもので、杣山合戦の戦況を示すものとしては、現存する唯一の文書です。

鳥居景近・高橋景業連署状 1点

元龜4年(1573)3月の敦賀出陣中に、朝倉義景に近侍する鳥居景近・高橋景業が、近江の武士・多胡宗衛門尉に宛てて出した連署状です。義景の直書に副えて出されたもので、多胡氏と連合するにあたり人質を取り交わすことなどが書かれています。兵を進めるにあたり朝倉氏が慎重に情報収集を図っていた様子が見えます。

(2) 基本展示の展示替え

展示品の保存上、以下の資料を新たに公開します。(すべて実物資料)

○会期 令和5年2月7日(火)から

○会場 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 基本展示室

○展示資料

・越前焼壺【重要文化財】

井戸の中から見つかった越前焼の壺で、頸の部分に縄が残っていたことから、井戸の水を汲む釣瓶代わりに使われていたと考えられます。

・朝倉貞景知行宛行状

3代当主貞景が家臣の鳥居氏に宛てて所領を安堵した文書です。

・慈視院光玖遵行状

初代孝景の弟の慈視院光玖が、鳥居氏への所領引き渡しを認めて出した文書です。

・朝倉義景書状

奈良興福寺の子院の明星院から墨を贈られて返した礼状です。

・朝倉義景感状(大安寺又四郎宛て)

合戦で戦功のあった家臣に宛てて出した感状です。

・神祇抄

永禄11年(1568)に一乗谷の教得寺で書写された神道書です。

・清原宣賢漢詩短冊

戦国時代随一の学者で、一乗谷で朝倉家臣に儒学を講義した清原宣賢の詠んだ漢詩です。

・刀剣〔銘 兼則〕

兼則は、戦国時代に美濃国から一乗谷に移住して作刀した刀鍛冶で、刀の茎に名前が刻まれています。